



啐 啄 同 時

校長 相馬 美智枝

17日から2学期が始まりました。明德小学校には、子どもたちの元気な声が響いています。学校は子どもたちの笑顔があふれ、元気な声が響く、活気のある場所でなければと思います。

先日、上川教育局義務教育指導監が来校された際に「啐啄」について話をしてくださいました。私もこの言葉が大好きで、初めて知ったのは20代半ば、和寒町の小規模校に勤務していた頃でした。

私はフィギュアスケートが好きで、20年程前からこれまで多くの大会を生観戦してきました。選手が演技のためにリンクに滑り出していくとき、コーチが最後に言葉をかけます。本番直前に何を伝えるのかは人それぞれでしょうが、コーチはその選手の力を最大限引き出すような、心に響く心強い言葉で伝えているでしょう。師弟関係と言われますが、その様子を見てみると、選手にとってコーチは絶対的な存在であり、二人が強い信頼関係で結ばれていることを感じます。

このような師弟の関係を表すのに「啐啄同時（そったくどうじ）」という言葉があります。

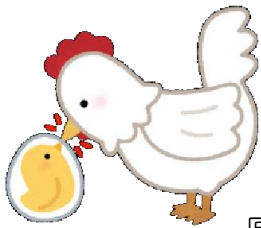
啐啄（広辞苑 第六版より引用）

（「啐」は鶏の卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音、「啄」は母鶏が殻を外からつつき破ること）

①【仏】（→）啐啄同時に同じ。②逃したらまたと得がたい好機。 →そったく - どうじ【啐啄同時】

★ 啐啄同時（広辞苑 第六版より引用）

禅で、機が熟して悟りを開こうとしてる弟子に師がすかさず教示を与えて悟りの境地に導くこと。

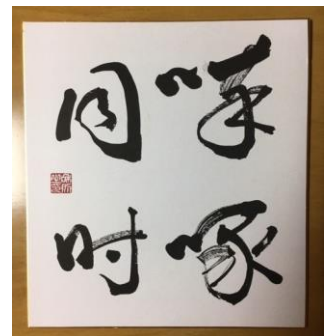


啐啄同時とは、雛鳥を弟子に、母鳥を師匠にたとえ、雛鳥が「もうすぐ生まれるよ」と内側から殻をつつき、その卵の変化に気づいた母鳥が外側から殻をつつくように（左の絵を参照）、機が熟して悟りをひらこうとしている弟子に、師が教示を与えて悟りの境地に導くという意味です。

大事なのは、殻を破る弟子と、それを手助けする師匠、両者の「啐」と「啄」のタイミングがぴったり合うことです。これを教育に置き換えると、指導者は教え子が興味・関心をもち自ら学びたい、やってみたいと一歩踏み出した時、そのタイミングを捉えてその思いに寄り添う。そしてあと一歩で殻を破ることができることを見逃さず、どこを破ればよいのかを示して成長を促す。それが「啐啄同時」の教育です。そのような教育を理想に、全ての教師は努力を続けています。私も「啐啄同時」を実践するプロの教師を目指して、これまで出会った職場の上司や同僚、保護者や地域の方々と手を携え、この道一筋に邁進してきました。

右の写真は、私が管理職を目指す契機となった、当時の校長先生（明德中学校でも教諭として勤務）から教頭昇任の際にいただいた色紙です。校長になって改めてこの言葉の重みを感じています。

中央教育審議会の答申では、2020年代を通じて『令和の日本型学校教育』の構築の実現を目指し、その姿を「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」としています。子どもたちが夢と希望をもち、未来を生きるための資質・能力を身に付けるために、2学期も教職員の力を結集し、教育活動を充実させてまいります。



7・8月の学校日記

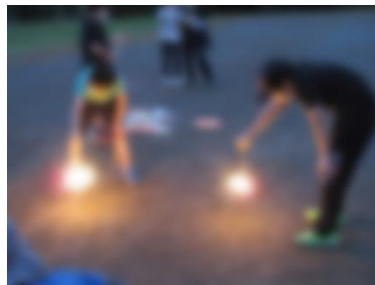
《少年団親子交流会》

少年団主催で行っている『親子キャンプ』ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も『親子交流会』に形を変えて実施しました。

今年は、初めに水鉄砲大会と行いました。チームに分かれて熱い戦いを繰り広げ、盛り上がりました。着替えタイムのあと、みんなで手持ち花火で楽しみました。

後半は、学校内で肝試しをしました。初めにプレールームに集まって、怖い動画を見た後、真っ暗な学校の中をグループに分かれて廻りました。あちこちから大きな声が聞こえてきていました。

少年団役員の皆様をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様には、たくさんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



《芸術鑑賞会》

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2年間中止になっていた芸術鑑賞会が、8月25日（木）に町民センター美丘で行われました。今年は、『アステリズム』というグループの演奏家5名が、それぞれバイオリン・ファゴット・ピアノ・パーカッション・マリimbaを使って、素敵な演奏を聴かせてくれました。感染症対策を意識しながら、楽器紹介やイントロクイズ、手拍子など、子どもたちが参加できる工夫をしてくれたり、子どもたちになじみのある曲をたくさん演奏してくれたりするなど、終始楽しく素敵な音楽を聴くことができました。最後には、各校の校歌を演奏していただき、子どもたちも大喜びでした。本物に触れる、とてもよい機会となりました。

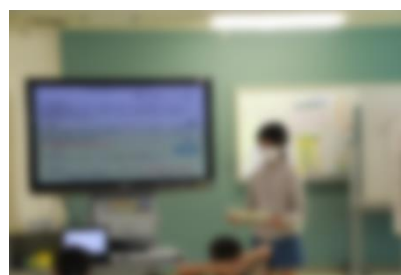
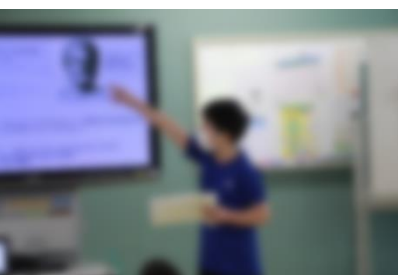
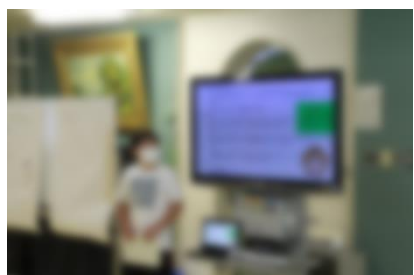
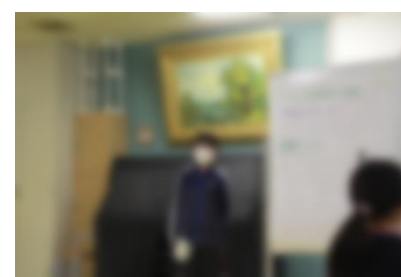
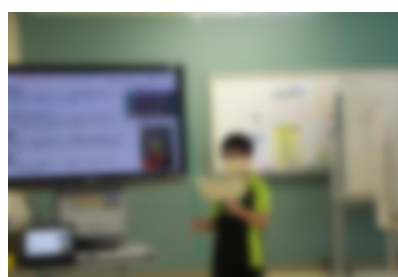
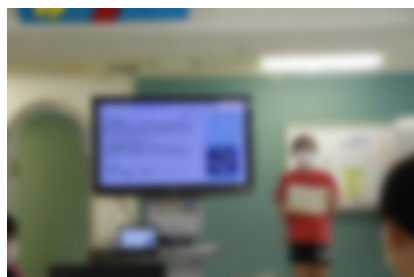
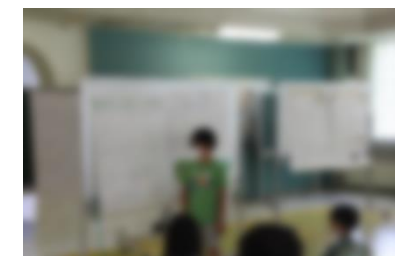
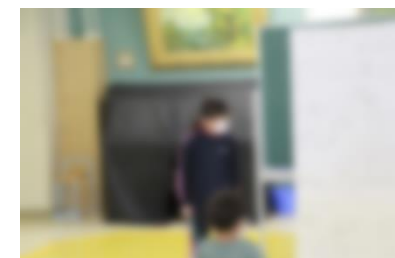
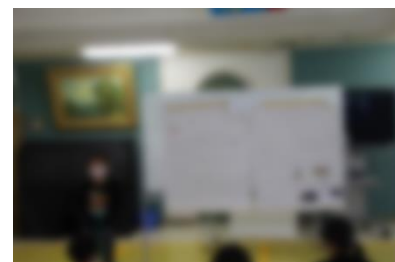
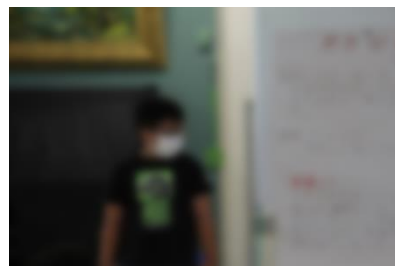


《自由研究発表会》

8月19日（金）に夏休みの成果を発表し合う「自由研究発表会」を行いました。今年度も3年生以上が発表し、低学年はその様子を見て、後日ステップタイム（朝学習）で発表するときの参考にしました。発表会では、調べた理由やわかったこと等を発表していました。写真や図を使ったり、クイズを取り入れたりするなど、発表の仕方にも工夫が見られ、見る人を引きつける立派な発表でした。また、質問や感想なども活発に出され、有意義な時間になりました。

今年の自由研究のテーマを掲載しておりますのでご覧ください。

- ◎1年 • 『ぬいぐるみとバッグのぬいもの』
- ◎1年 • 『かぶとむしとくわがた』
- ◎1年 • 『夏休みの思い出写真』
- ◎2年 • 『ブロックリーのそでてかたとブロックリーのレシピ』
- ◎2年 • 『トランプのはじまり』
- ◎3年 • 『犬のひみつ』
- ◎3年 • 『日本にこん虫は何しゆるいいるのか』
- ◎3年 • 『モルモットについて』
- ◎3年 • 『いろいろな動物の体重』
- ◎3年 • 『野菜を食べる生物』
- ◎5年 • 『雪の結晶の形について』
- ◎5年 • 『セキセイインコについて』
- ◎5年 • 『サル痘について』
- ◎6年 • 『ハクセキレイについて』
- ◎6年 • 『静電気の秘密』
- ◎6年 • 『猛暑・虹について』



9月行事予定

日	曜	行	事
1	木	全校朝会 安全点検日 研修10	
2	金		
3	土	土曜学習(算数)	
4	日	朗根内神社祭	
5	月	開校記念日	
6	火	視力・身体測定	
7	水	避難訓練 防災教室	
8	木	コーディネーター会議	
9	金	特支交流学習(高) 依真布神社祭	
10	土		
11	日		
12	月	秋の環境整備 ふるさと学習6年	
13	火	児童会⑦ ふるさと学習4年	
14	水		
15	木	特6 職員会議9	
16	金	社会見学1~3年	
17	土		
18	日		
19	月	敬老の日	
20	火	児童会選挙	
21	水	生活科校外学習(1・2年) クラブ④	
22	木	小規模校教育実習 特別支援保護者面談週間(~30日)	
23	金	秋分の日 少年団秋の資源回収 センチュリーライド	
24	土		
25	日		
26	月	児童会⑧	
27	火	ふるさと学習5年	
28	水	特支交流学習(低)	
29	木	研修11	
30	金	前期通知表配付日	